

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

原発事故の現在の状況 — 避難、健康、ICRP (PDF資料)

水野 義之 · Monday, December 10th, 2012

アゴラ研究所が11月に行ったシンポジウムで、解説をした水野義之京都女子大学教授のプレゼンテーション資料を公開する。(PDF)

水野氏の発言の一部は、[ビデオ](#)で公開され、発言の一部はGEPRの記事「[原発はいつ動くのか](#)」シンポジウム「[エネルギー政策・新政権への提言](#)」報告・その1」でまとめてある。

資料は「16万人の避難者の現状」「健康被害の可能性」「ICRPに照らした日本の政策、基準、コスト」の問題の3点をまとめた。

16万人の避難者の問題では放射能ではなく、2300人の災害関連死が出ている問題を指摘。また健康被害の可能性では「リスク増加の可能性は見えない」という事実を述べている。さらにICRPの努力目標が、絶対視されたことも言及している。

(2012年12月10日掲載)

This entry was posted on Monday, December 10th, 2012 at 2:00 pm and is filed under [アップデート](#), [報告書](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.